

第10 　　む　　す　　び

以上が、28年度西宮市一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査を行った結果の概要です。

一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入2,603億3,536万円、歳出2,562億8,325万円で、前年度と比べ歳入で31億5,336万円(1.2%)、歳出で37億4,779万円(1.4%)、それぞれ減少しています。歳入歳出差引額は40億5,211万円で、翌年度に繰越すべき財源3億5,648万円を控除した実質収支額は36億9,562万円の剰余(黒字)となっています。

一般会計の歳入においては、市税は、法人市民税で1億6,944万円減少しましたが、個人市民税で12億3,584万円、固定資産税で4億5,351万円、それぞれ増加したことなどにより、前年度と比べ15億6,698万円増加しています。これに伴う基準財政収入額の増額等により地方交付税は11億1,509万円減少し、地方消費税交付金については、円高の影響で輸入取引に課税される地方消費税が落ち込んだことにより7億2,086万円減少しています。このほか高木北小学校新設事業の減や南甲子園及び上甲子園小学校校舎増改築事業の減等により、市債は45億2,860万円減少しています。

一方、一般会計の歳出では、病院事業会計への貸付金の増額などにより衛生費で18億9,380万円、年金生活者等支援臨時福祉給付金の新設などにより民生費で7億8,781万円、それぞれ増加していますが、高木北小学校新設事業の減や南甲子園及び上甲子園小学校校舎増改築事業の減等により、教育費は69億650万円減少しています。

経常収支比率は、前年度に比べ2.1ポイント悪化し95.9%となっています。依然として高い水準で推移しており、弾力性に欠ける財政構造が続いています。

収入未済額については、一般会計45億9,987万円、特別会計28億730万円、合計74億718万円(収入率97.0%)で、現年度分13億3,277万円、過年度分60億7,440万円となっています。収入未済額は西宮市収納対策本部が設置された19年度以降、減少を続けており、19年度の173億4,081万円に比べ99億3,362万円(57.3%)減少しています。

今後とも各所管部局においては、各種債権の適時・適切な管理と迅速かつ効果的な滞納整理を行うとともに、悪質な滞納者については法的措置を含め、より厳正な対応策をとるなど、収入未済額の減少に努めてください。西宮市収納対策本部においては、各種情報の共有化を図り全庁的な徴収業務の強化を推進するとともに、徴収方法の拡大や、より効果的で実効性のある滞納整理の方法について研究に努めてください。また、各種債権について安易な不納欠損処理をすることのないように留意するとともに、不納欠損額を減ずるためにも、その前段階となる収入未済の減少、中でも現年度分の減少に努めてください。

不用額については、一般会計59億6,091万円、特別会計47億3,097万円、合計106億9,189万円(不用率4.0%)で、前年度に比べ16億3,823万円(18.1%)増加しています。不用額には、予算の経済的、効率的な執行や経費節減によるもの、予算作成後の予見しがたい事情の変更等によるもの、予算上の見積りや想定が実情と合っていなかったものなど、多様な理由がありますが、的確な決算見込額の把握

に努め、不用額が明らかになった場合は減額補正を行うなど財源の有効活用に努めてください。

28年度末の市債残高は1,472億5,661万円で、前年度末残高に比べ57億7,232万円(3.8%)減少しています。市債発行額は、借換債で7,040万円増加しましたが、新発債で48億2,270万円減少したことにより、前年度に比べ47億5,230万円減少しています。市債残高は減少傾向で推移していますが、公共施設の老朽化対策など投資的経費の増大や臨時財政対策債の増額による多額の市債発行も想定されることから、今後も投資的事業の厳選及び年度間調整を徹底し、市債発行額の抑制に努めてください。

今後の収支見込みについて、当局は、歳入については、地方消費税交付金等の増額を見込むものの、それと連動して地方交付税が減額となり、一般財源総額としては大幅な増加は期待できないとしています。一方、歳出については、公債費は29年度に大幅な減となるものの、その後は大きな減少は見込めず、扶助費などの社会保障関係経費が大きく伸びていくとともに、投資的経費についても公共施設の老朽化対策などにより増大すると見込んでいます。また、国が財政再建を進める中、地方財政への影響も予測しがたいとしています。

今後の財政運営については、一定額の基金残高を確保しつつ、社会情勢の変化に的確に対応し、将来にわたって安定的な財政運営を行えるよう、施策・事業の一層の見直しを図るとともに、必要な財源の確保に努めてください。